

おくのほそ道俳句めぐり

三月四日(水)午後二時(晴れ)、JR南千住駅西口タクシー乗り場の一角に松尾芭蕉の銅像が建立され、参加者二百人余り大賑わいの中で、盛大な除幕式が行われてでした。

これで、俳句の町南千住として活動して行かねばと強く思いました。子どもから大人まで楽しみながら頭の活性化に役立つ俳句を五七五と作って頂き、一席二席と賞金賞品を出して俳句大会を毎月開催していければと計画しています。

☆六郎が語る☆ 南千住一口話 第161回

芭蕉時代、俳句は俳諧と言われ滑稽味を帯びた和歌の一つであるざれごとを歌っていました。その後、一度すたれてしまいそうになりましたが、明治時代中期に愛媛県生まれで根岸に住んでいた正岡子規が俳諧革新運動を起こし俳句を確固たるものになりました。日暮里駅南口を出てラングウッドホテル側を鶯谷駅へ向かって線路沿いに歩いて行くと正岡子規の住んでいた庵があります。俳句好きな方は一度訪ねてみてください。

毎年九月十九日には糸瓜忌とへちま忌 瀬祭忌とだつさい忌 川瀬祭とかわうせ 川瀬まつりがあり、川瀬祭が行われていました。汐入地区が、いかに沼地で魚が多くいたか判ります。瀬祭という名前のうまい酒が南千住三ノ輪で売られています。探してみてください。

現在、投箱設置と選者を決めること等一歩一歩進めています。南千住駅ーコツ通り商店街ー素盞雄神社ー千住大橋と一本の線がで

きましたので大いに利用しようと考えています。

今、コツ通りでは電線地中化に伴う道路整備事業が進められており、平成二十八年に完成します。西側の城北信用金庫側に新しい街路燈が立ち始めています。LED仕様の道路燈と歩道燈が併設され非常に明るくなるそうです。歩道も低く段差のない歩きやすい作りとなり。街路樹も天王さまと同じに芭蕉にちなんだ桃の木です。完成したら楽しいイベントを開催する予定です。

松尾芭蕉が森下の高橋から舟に乗り、おくのほそ道旅立ちの地南千住に上陸し、南千住の黒羽藩の門人や江戸の内の門人達等親しい人々とのしばしの別れを惜しみ、やっち連と会いました。千住大橋を江戸の町南千住側から渡り、田舎の町橋戸側において沼地の多い道をニキ口歩いてやっちと千住の町へ入って行ったのです。

もう一つのおくのほそ道俳句めぐりコースをコツ通りに作ります。「行く春や鳥なき魚の目に涙」から始まり、大垣の「蛤のふたみにわかれ行く秋ぞ」の結句を並べ、一回りしてスタンプを満たせば記念品を差し上げる仕組みです。楽しく面白く歩いて買い物もして頂ければと考えています。

コツ通りもビル建設が盛んですが、一階が店舗でなくなり、寂しい商店街となってきました。小売商の形態が変り大部分の店が消えて行くでしょう。祭などの地域行事も全て町会の行事へ移り変わって行くでしょうね。

仙成こと杉山六郎



☆「南千住一口話」開催

三月二十九日(日)午後七時

南千住駅前ふれあい館二階



垂矢のハーブ
一口メモ
TEL3801-4725

日中、暖かい日も多く

なつてまいりましたね。と書いていましたら、なんと強風がふいたりヒョウが降ったりと急に寒さが戻りましたね。

みなさま、いかがおすごしですか？ 気温の急な変化に身体が疲れますね、私もなんだか喉の調子が危ない！ 何とか風邪をひかないよう頑張ります。

健康に過ごすには、食事、運動、睡眠が大切とよく言われますが、みなさんは何かされていることはありますか？ 私は食事ではなるべく野菜を取るようにはしています。食べ過ぎ気味ではありますけど。睡眠は良い寝具で、たっぷりとついています。

(笑) 運動は全くしていません。このままではいけないと思い、夕食の後30分ほどウォーキングをはじめました。毎日では出来ませんが、なんとか1か月は続けています。夜歩きのが見るスカイツリーも綺麗です。いつも同じ色だと思っていたら意外とライトが変化しているのですね。

今回のハーブは当店でも飲みやすく、当店でも人気のあるブレンドです。毎日試飲のハーブティーを作っていますので、お試しください！

◇バラ

神経を鎮めてジェラシーをおさえてくれます。整腸作用もあり、便秘の方にもおすすめです。

◇ウスベニアオイ

呼吸器系によく、レモンを加えると深い青色からピンク色に変化することから「夜明けのティー」といわれています。飲み続けるとシミが薄くなるともいわれ、若返りのハーブと好まれています。故モノコ王妃のグレースケリーさんも好きでよく飲まれていたそうです。

◇レモングラス

消化を促進し神経をやわらげます。

【飲み方】

ポットに一袋分のハーブをいれます。熱湯を350cc注ぎ、3〜4分おいたら飲み頃です。

※ハーブには多少、利尿作用があるので夜気になる方には夕方までの飲用をおすすめします。

タンドレスブレンドは1箱10袋入 1785円です。